

## 「温暖化研究最前線：気候変動と温暖化対策研究への日本の取組」

共催：内閣府、(独) 国立環境研究所

### 開催の趣旨：

2005 年 2 月 16 日に京都議定書が発効され、温暖化対策について具体的な検討が求められている。さらに、2012 年以降の国際的枠組みに関する議論（ポスト京都）が 11 月末からモントリオールで行われる COP11 & COP/ MOP1 で開始される。これらを踏まえ、中長期的視点に立ったわが国の温暖化対策のあり方について検討を進める必要がある。

- 1) 第 2 期科学技術基本計画期間において、総合科学技術会議は各省・各機関の温暖化研究活動を総括した温暖化研究イニシャティブを進めてきた。また、現在ワーキンググループを組織してわが国の温暖化対策技術研究の全容とそれに対する国の研究開発投資のあり方について集中的に調査研究を進めており、これらについて報告する。
- 2) イニシャティブのもとで、2050 や 2100 年といった中長期を視野にいたした温暖化対策シナリオ研究が進められている。本シンポジウムでは、その代表的な研究グループによる研究成果報告から低炭素社会を実現させるための課題を抽出し、中長期温暖化対策研究を進めて行く上で、今後何が必要かを議論する。

### プログラム予定 (2005 年 11 月 11 日 (金))：

10:00-10:05：開催の辞（総合科学技術会議 議員 薬師寺泰蔵）

第一部「総合科学技術会議温暖化研究イニシャティブの取組」

10:05-10:30：総合科学技術会議のこれまでの取組について（内閣府 野尻幸宏）

10:30-10:55：温暖化研究イニシャティブ（気候変動分野）の取組について（東大 小池勲夫）

10:55-11:00：温暖化研究イニシャティブ（対策技術分野）の取組について（RITE 茅陽一）

11:00-11:30：温暖化対策技術調査検討 WG の活動状況について（東大 松橋隆治）

11:30-11:50：質疑応答

11:50-13:00：昼食

第二部「低炭素社会に向けた日本の取り組み」

13:00-13:05：議論を始めるにあたって（NIES 西岡秀三）

13:05-13:50：「METI 超長期エネルギー技術ビジョン」（AIST 赤井誠）

13:50-14:35：「RITE 温暖化対策研究」（RITE 森俊介、秋元圭吾）

14:35-15:20：「脱温暖化 2050 研究」（NIES 藤野純一）

15:20-15:40：コーヒーブレイク

15:40-16:55：パネルディスカッション（コーディネーター：京大 松岡譲）

16:55-17:00：閉会の辞（(独) 国立環境研究所 理事長 大塚柳太郎）

METI：経済産業省、RITE：(財) 地球環境産業技術研究機構、

AIST：(独) 産業技術総合研究所、NIES：(独) 国立環境研究所

### \*\*\*お願い\*\*\*

会場内は禁煙（中庭のみ喫煙可）

カーペット上での飲食禁止（講堂内は可、ただしごみは持ち帰り下さい）

携帯はマナーモードか電源をお切り下さい。

当日の資料は、後日、脱温暖化 2050 のホームページ (<http://2050.nies.go.jp/>) からダウンロードできるようにする予定です。